

2014年10月9日

「ヤクルトCSR・環境保全キャンペーン」を実施し、 公益財団法人オイスカの「子供の森」計画に寄付

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、今年6月にグループ全従事者向けの「ヤクルトCSR・環境保全キャンペーン」を実施し、キャンペーンの一環として公益財団法人オイスカ^{*1}の「子供の森」計画^{*2}に27万円を寄付しました。公益財団法人オイスカへの寄付は、今回で6度目となります。

今年20回目となる当社の環境保全キャンペーンは、『「CSR推進標語をつくろう！」～CSRをヤクルトグループ内にもっと広げよう～』をテーマに、グループ従事者から、従事者自身がCSR・環境保全活動を推進するための「ヤクルトCSR推進標語」を募集しました。その結果10,662件の応募があり、その中から最優秀賞1件、各部門賞3件を選出し、その作品を記載したポスターを全事業所に掲示して、従事者のCSR・環境保全意識の啓発に活用しました。

さらに、応募のあった標語1件あたり25円として、応募数に応じた27万円を、公益財団法人オイスカの「子供の森」計画活動資金として寄付し、南太平洋のフィジー共和国ビチレブ島の活動に活用していただきます。また標語募集に加えて、昨年につき、ヤクルトグループとして「グリーンウェイブ2014^{*3}」に参加し、全国15か所で植樹を実施しました。

当社では、今後もグループ全従事者一人ひとりにCSR・環境教育を徹底し、CSR・環境保全意識の向上に取り組んでいくとともに、社会貢献意識の啓発を図っていききたいと考えています。

なお、今年度の「CSR・環境保全キャンペーン」の概要は下記のとおりです。

記

1. 名 称：「CSR 推進標語をつくろう！」
～CSRをヤクルトグループ内にもっと広げよう～
2. 期 間：2014年6月1日～6月30日（1か月間）
3. 対 象：ヤクルトグループ全従事者
4. 実施内容および結果：
 - (1) CSR推進標語の募集
10,662件の応募の中から、下記の作品を最優秀賞に選出しました。
「私の街 愛とEyeとで見守って」
 - (2) オイスカ「子供の森」計画への寄付
 - ①寄付金額：27万円
 - ②算出方法：応募のあった標語1件あたり25円として応募数10,662件に応じて算出しました。
 - (3) 企業としての「グリーンウェイブ2014」への参加
 - ①東京都国立市との「植樹」に関する協働活動
 - ②グループ内工場（14工場）で「植樹」を実施

- ※1 : 公益財団法人オイスカは、アジア・太平洋を中心とした地域で、農村開発、人材育成、環境保全を推進している国際NGOです。
- ※2 : 「子供の森」計画は、子供たち自身が、学校の敷地や隣接地に苗木を植え、育てていく活動を通じて「自然を愛する心」、「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプログラムです。1991年に始まったこの活動は、33の国・地域の4,650の学校に広がっています。(2014年3月末現在)。
- ※3 : 「グリーンウェイブ2014」は国連が定める国際生物多様性の日(5月22日)の現地時間午前10時に各国の企業、学校、市民が植樹等を行う地球規模のキャンペーンのことです。国連が呼び掛けをして、日本では環境省、農林水産省、国土交通省も参加を推奨しています。

以 上